



第33回千坂校下文化祭・健康フェアが盛大に開催され終日の賑わい
井波奈津美さん(12班)が昨年に続き体育功労賞を連続受賞の栄誉！
荒屋会館建設概要と地域文化活動状況を展示出品し、新しい地域づくりに
称賛と羨望の声が広がる！



第33回千坂校下文化祭が10月31日(日)に「築こう 千坂の里に 健康社会 ～マナーを守って住みよい地域～」をテーマに、千坂小学校体育館・ピロティを「文化ゾーン」、公民館を「健康ゾーン＝健康フェア」を会場として盛大に開催され、好天に恵まれた穏やかな秋日和であったことから来場者の出足も良く、終日大勢の来場者で賑わいました。

式典では、文化・体育で顕著な功績のあった個人(15名)と団体(2団体)、及び青少年健全育成標語の入選者(9名)がそれぞれ表彰されました。

当町会から星稜高校2年井波奈津美さん(12班)が、全日本ジュニアテニス選手権石川県大会U18女子シングルス、並びに、ダブルス優勝、石川県高等学校総合体育大会女子シングルス優勝等の栄誉が讃えられ、体育功労賞を受賞されました。おめでとうございます。

町会は、地域文化の発信基地である荒屋会館が完成し、新しい地域づくりが始動したことを紹介するため、会館の建設コンセプトと各同好会の活動状況をまとめた展示物を出展したところ、来場者から羨望の眼差しが注がれ、文化祭が終わってからは称賛の声が広がってきました。



また、悠々サロンの活動状況や作品展示にも注目が集まったほか、今回初めてクラフト同好会の作品も出品され、出来栄に感嘆の声が上がりました。



このように、本文化祭では荒屋団地の文化活動を通した新しいまちづくり状況を大いにアピールすることができました。作品展示にあたり、資料作成や会場飾り付け等にご尽力された皆様に心から感謝を申し上げます。

2 千坂校下社会体育大会で総合優勝し二連覇の快挙、荒屋団地町会の名声躍如！ 新調された優勝旗に吾が町会名を記すただ一本のリボンに感動！



写真撮影 小竹基博さん(15 班)

去る 9 月 26 日（日）第 57 回千坂校下社会体育大会が澄みきった青空の下、千坂小グラウンドで盛大に開催されました。

校下 23 町会から約 1,500 人が参集し、個人競技や町会対抗競技が繰り広げられ、終日グラウンドに歓声が響き渡りました。

当町会は、1 歳児から 90 歳までの幅広い年代層からなる 125 人が参加し、日頃の運動不足を解消したり、町会の名誉をかけた団体競技の出場選手は全力を尽く

し、テントからはあらん限りの声を張り上げて熱い声援が送られました。

開会式の当町会による優勝旗返還では、40 数年来の歴史を彷彿とさせる優勝旗の見納めでした。40 数年経て劣化したため小藤公民館長のご厚意により今大会で新調されることになりました。

当町会のキャッチフレーズは、「新築なった荒屋会館に新調された優勝旗を飾ろう！」でした。実は、昨年 11 月頃、宮田主事から優勝旗を新調することになったので、すぐ持参するよう指示があり、その際、新しい優勝旗ができたなら貰えるか尋ねたところ、来年の社会体育大会で優勝してくださいと、闘志を掻き立てさせる言葉がありました。

そんなこともあって、今回はどうしても優勝を勝ち取り、新調された優勝旗を新館に飾ると固い決意で本大会に臨みました。

選手宣誓は当町会の出口さん（6 班）により、力強く簡潔に行われました。

最初の対抗競技はみんなでジャンプ。昨年は負傷者が続出したこともあって、縄を廻す人を除き、ジャンプする人数が男女各 5 名と少なくなり、縄も細く軽くなって廻しにくかったようです。それに、練習無しの 3 分間勝負。昨年はこの種目 1 位でしたが、今回 21 回の 3 位。

続く競技はリレー予選、結果は 3 位となって決勝進出を果たし胸をなでおろし午前の部が終了。



写真撮影 小竹基博さん(15 班)

午後の綱引きは 1 回戦不戦勝、2 回戦は昨年決勝戦で苦杯を喫した横枕・千木親和会チームと対戦。

最初の 1 本目は制限時間ぎりぎりになって引き戻され負け。2 本目も全力をふりしりましたが相手のパワーに屈してしまい残念ながら決勝戦進出は成りませんでした。

テントの中で声援を送っていた人達にも重苦しい空気が漂っていました。

しかし、まだ競技半ばでこれからが正念場と気を引き締めました。

次の競技は「むかで競争」、この競技は昨年はダントツの 1 位。今年は若手を中心とした選手構成を図り、競技前に下島さんから紐の結ぶ要領の指導があり、選手の頑張りはもちろん、それが効を奏して 1 位をキープしました。

この後、当町会としてはこれまで残念ながら上位の成績をあげることができなかった「大玉ころがし」。ところが今年は驚天動地、何と一位を奪取！。7人の選手全員が、実に見事な玉裁きとスピードを発揮しました。この時点で、リレー決勝の成績に関わらず「優勝」することが確定しました。大金星！感謝、感激でした。

むかで競争チームの誇らしいVサイン



写真撮影 小竹基博さん(15 班)

殊勲の成績をあげた大玉ころがしチーム



本大会のフィナーレ・リレー決勝戦では、選手全員力走するも第5位の結果となりました。



かくして、2連覇3回目の優勝という偉業が成し遂げられました。本大会に出場された多くの選手の皆さんと、応援に参加された皆さんに厚くお礼を申し上げます。

当日夕刻より、反省会から祝勝会に格上げし、大勢の同志が優勝の美酒に酔うことができました。

プルッシュンブルーを基調とした真新しい優勝旗は、玄関ホールにどっしりと輝いてその存在感を示しています。この1年間、

荒屋団地町会の団結力を表す象徴として誇らしげに屹立するでしょう。

3 ふれあい交流会が開催され、多世代間の新たなコミュニティが誕生！



去る10月24日、午前9時から午後1時まで荒屋会館及び児童公園において、町会と町会関係組織との共催により、多世代間の「ふれあい交流会」が開催されました。

参加者は45名（福寿会19名・町会一般13名・子ども会13名）にのぼり、この行事により今までにない新たなコミュニティが生まれました。

この行事は、幼児から高齢者までの多世代が心をつなげて楽しむ「ふれあい

のひととき」を過ごすことができるメニューが用意されました。最初は「交通安全紙芝居」、その後、ポルトガル民話から「王様の耳はロバの耳」の読み聞かせがありました。

このあと、場所を移動し児童公園でグラウンドゴルフを楽しみ、再び荒屋会館に戻り昔あそびの折り紙を高齢者が子ども達に教えたところ、紙鉄砲、紙飛行機、GI 帽子などに歓声があがりました。折り紙やピロピロ笛作りを楽しんだ後、郷土が生んだ八田與一氏の功績を描いたアニメ映画パッテンライを鑑賞しました。

子ども達とグラウンドゴルフを楽しむ

紙飛行機はね、こうして折るのよ

映画「パッテンライ」の鑑賞



最後は参加者全員でカレーライスの食事を楽しみました。

荒屋会館が完成して7ヶ月、各種同好会活動が活発に行われ、人と人との繋がりが広がってきました。

この「ふれあい交流会」がこのような盛んに開催できたことは、よく整備された設備とスタッフの協力しようとする気持ちがかみ合っこそ実現できたと思います。このように荒屋会館が完成して、地域コミュニティに絶大な効果が発揮されてきました。

なお、本行事開催に先立って、悠々サロン土居本代表が申請手続きのご尽力により、県社会福祉協議会から補助金5万円が交付されています。

他の町会から、「とても荒屋団地のようなことはできない」との声をよく耳にすることが多くなりました。このように町会と関係組織が協同で初めて取り組んだ「ふれあい交流会」が大好評で終わることができ、関係者のご尽力に深く感謝を申し上げます。

5 総合企画委員会を開催し、町会運営の方向付けを協議

諸問題の認識と対応策を協議し、班割再編成案を熱心に討議

10月23日(日)、総合企画委員8名、オブザーバー4名出席のもと、今年度第1回の総合企画委員会が開催され、町会運営のあり方等について、長期的観点を踏まえた諸問題の洗い出しとその対応策が熱心に協議されました。

協議事項と対応策の概要は次のとおりです。

1. 社会情勢の変化に対応する町会活動の位置づけ

(1) 価値観の多様化

(昨年度提案)

- ・縦割り運営方式の限界→従来の運営方式継続では住民の町会活動参加意欲が低下
- ・関心のある活動(NPO、各種ボランティア)には参加者が増加→町会活動活性化のためには、同好会、サークル活動の立ち上げ推進が必要

(今年度の実施状況)

- ・10種類の同好会を立ち上げ6種類の同好会が活動中(4種休眠状態)

(次年度以降の対応策案)

- ・町会組織に文化部を創設し、各種同好会・サークル活動を支援
- ・各種講演会開催の実現

(2) 高齢化

- ・地域に及ぼす影響→高齢世帯増加に伴う副会長・班長の任務遂行不能者が増えて順番が早く回ってくる→不公平感の高まり→活動衰退
 昨年逝去者過去最高（17名死去）
- ・対応策→各種サークル等に、行事協力支援、共催を依頼する
 健康・娯楽・教養・趣味等に関する行事、講演会を取り入れる
- ・支え合い・助け合い活動の必要性→高齢者のみの世帯が増えつつある→老々介護の限界→いつか自分も歩む道、今できることをする→啓蒙が必要

（次年度以降の対応策案）

- ・高齢世帯の増加、空き家の増加等で班の機能が低下→班編成を改正する

(3) 若年者層と高齢者層の融合の必要性

- ・それぞれの世代が生きてきた時代環境により価値観が相違
 →価値観を共有できる活動の導入→キーワード「子ども」→イベントの実施等
- ・新館の有効利用策
 （今年度の実施状況）
- ・ふれあい交流会を実施（社会福祉協議会より予算獲得）
- ・餅つき大会を実施
 （次年度以降の実施）
- ・ふれあい交流会の内容を吟味し参加者を増やす
- ・餅つき大会を継続

(4) 情報化時代

情報化対応能力の向上を図る必要性

- ・知る、知らない、できる、できない→格差拡大（利益を享受できる、できない）
- ・対応策：パソコン講習会の継続実施

2. 町会の現状と問題点の洗い出しについて

(1) 現在の活動状況の把握

情報公開：・役員会等の議事は全て文書化し記録を残す

- ・町会ホームページで情報公開
- ・町会だよりの発行、記事の充実

情報化時代の対応：ネットサークル定例会を開催してパソコン操作指導、随時入会可能

防犯：ちゃりんこ・わんわんパトロール隊（116名）→全世帯隊員化を目指す

防災：防災体制を確立、防災訓練を実施、救急担架の備え付け（寄贈）

安全：ちさか地域安全パトロール隊（21名）で学童下校時の見守り→要員が不足

 市道福久南～百坂線の沿道家屋の振動被害→要望書を提出

 県道福久～弥勒線の未整備区間の改良、横断歩道信号機の設置→要望者提出

親睦：盆踊り大会、校下町会対抗競技に好成績を残した

横の組織との連携強化：福寿会、青年部、子ども会、ネットサークル、悠々サロン、民生委員が町会行事を支援、相互に活動を支援強化



これをさらに発展させる

青年部の組織強化を支援する

(2) 荒屋会館維持管理の問題点

- ・備品類整備：予算内で町会業務、同好会開催に必要な備品類を充足させた
- ・清掃当番：月2回各班持ち回りとする→円滑に実施中
- ・維持管理費：150円／月×全世帯で運営経費がまかなえる見込み
- ・受付当番：5月から実施→10月から一部改正、青年部の協力が得られていない

3. 高齢化に伴う町会運営の問題点と対策について

(1) 役員、班長の高齢化→町会行事、各種当番等に支障→対応策（班編成の見直し）

- ・世帯数の均衡を図るため、戸数20戸前後とする班割を検討する
- ・上記に伴い、ブロック割を改正

(2) 冬期の除雪要望→除雪対策基金の取扱を具体化する必要がある

(3) 福寿会の組織強化→60歳～70歳までの未加入者が増加→勧誘支援・強化（名称変更を検討）

4. 町会長選出の具体的な対策について

- ・町会長選出に関する申し合わせ事項について

次期町会長選出はブロック持ち回りとする事項を遵守し、1ブロックから選出することとしたいとの町会長の意志表明があった。これに対して委員から、班割再編成は短期間で実施困難と考えられ、もう1年やるべきとの少数意見があった。

- ・他町会の例

1年交替→金市団地、荒屋町会ほか多数（今年度16町会）

2年交代→福久南、福久

3年以上→ニュー金市、百坂、柳橋、千木、法光寺

- ・次年度以降の対応策

これについての明確な対応策についての討議はなされなかった。

以上について協議が行われましたが、班割編成改正案について再度協議が必要と意見が一致したため、去る11月6日（土）に第2回総合企画委員会を開催することとして閉会しました。

第2回の総合企画委員会では、執行部作成の改正案、並びに、実施スケジュールについて全委員から意見を求め、真剣に討議が進められました。

その結果、①各ブロック班数を3班に統一、②5ブロック15班体制となるよう編成案を再検討し、再度12月4日に委員会を開催し総会の承認を得る原案作成手順によることとする意見が一致しました。

6 千木町交番連絡協議会定例会で、地域における現状報告と意見交換

11月2日（火）、千坂公民館において連絡協議会会員、及び、金沢東警察署長ほか本署所属警察官や千木交番所所属警察官全員が出席し、地域における現状報告と意見交換が行われました。

千木町交番所所管の交通事故発生状況、高校生によるわいせつ事件、窃盗等の被害状況等について報告がありました。

そのほか、県外ナンバー車によるごみ置き場の不法積み込みについて質問が出され、目撃した場合、ナンバーをメモし交番所に通報するよう依頼がありました。

7 平成23年度新役員（班長及び副会長）の選考について

今年も残り少なくなりましたので、例年のとおり平成23年度の新役員（班長及び副会長）選考を進めていただき、12月23日（祝・木）までにブロック担当副会長へご報告ください。

なお、選考にあたっては町会業務の円滑な執行を期するため、次のとおりそれぞれ特段のご配慮をお願いいたします。

(1) 班長

班長は班内会員の互選により選出することになっていますが、ただ単に順番だからと決めるのではなく、家族状況や健康状況等にも十分配慮のうえ、現班長がそれぞれ責任を持って選出してください。

(2) 副会長（候補）

副会長は各ブロックから選出することになっていきますので、現在の副会長とブロック内の各班長の皆さんで協議のうえ、町会業務に積極的に取り組んでいただける方を選出してください。（男性女性はいません。）

転入のお知らせ

13班（□15-5）へ城山隆幸さんが転入されました。

よろしく願います。

おくやみ

3班の渋谷良男さん(84才)が11月3日に死去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。